

【登壇者・司会紹介】



岡山 裕

慶應義塾大学法学部教授。博士・法学（東京大学）。専門は、アメリカの政党政治史・行政国家の歴史。主な著書に、『アメリカの政党政治—建国から250年の軌跡』（2020年）、『アメリカ政治史講義』（久保文明氏との共著、2022年）、*Judicializing the Administrative State*(2019)など。

芦澤 久仁子

アメリカン大学専門講師及びアジア研究カウンスル・ジャパンコーディネーター。専門は国際関係論、アジア地域制度、日本外交、日米関係。主著書に「*Japan, the U.S. and Regional Institution-Building in the New Asia: When Identity Matter* (Palgrave McMillan 2013)」、訳書に「アメリカ世界秩序の終焉：マルチプレックス世界のはじまり（アマタフ・アチャリア著、ミネルヴァ書房 2022）など。



鈴木 健

明治大学情報コミュニケーション学部教授
ノースウエスタン大学よりコミュニケーション学博士（PhD）。専門は、メディア批評と政治レトリック研究。主な著書に、『政治レトリックとアメリカ文化—オバマに学ぶ説得コミュニケーション』（朝日出版社、2010年）、*The Age of Emperor Akihito* (Cambridge Scholars Publishing, 2019)。

兼子 歩 明治大学政治経済学部准教授

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学。専門はアメリカ社会文化史、特にジェンダー史。近著に『「ヘイト」に抗するアメリカ史』（彩流社、2022年、共著）など。



清原 聖子（司会・コーディネーター）

明治大学情報コミュニケーション学部教授
博士（法学）（慶應義塾大学大学院法学研究科）。専門は、アメリカ政治とメディア、ICT政策。主な著書に、『教養としてのアメリカ研究』（編著、2021年）、『フェイクニュースに震撼する民主主義—日米韓の国際比較研究』（編著、2019年）など。